

中央大学(学部入学定員:5,437人)

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

本構想の目的は、知識基盤社会の到来とグローバル化の急速な進展と、グローバル人材が求められる場面・局面の多様化に対応するため、「地球規模での諸課題に的確に対応できる多様なグローバル人材を養成すること」にある。本構想では、①グローバル・ジェネラリスト、②グローバル・リーダー、③グローバル・スペシャリストの3つの人材像を措定し育成する。

【構想の概要】

本構想は、本学学士課程教育をベースとしつつ、9つの「グローバル化推進支援プロジェクト」とこれらの支援体制を支える基盤となるFDやSDといったソフト面、さらに国際・ラウンジ等の整備によるハード面の取組から構成される。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

本構想により育成しようとする3つの人材像に即したカリキュラムの整備、海外協定校・国際学術団体との共同授業・共同プログラム(同時双方向テレビ会議授業やフィールドワーク含む)及び共通評価尺度の開発など。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

本構想により開発する人材育成システム、教材等の公開・共有及びグローバル・ネットワークの構築・共有のためWebサイト特設ページ(日・英他)設置やシンポジウム等の実施。

○ 事務体制のグローバル化

既存の職員短期海外研修補助制度を活用する他、海外協定校との人的交流や海外拠点整備における渉外プロセスをOJTの機会として活用し、職員の能力向上を図る。



短期留学プログラム

■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ グローバルC-compass開発

学生の行動特性自己評価システムである『C-compass』へグローバル人材評価項目の追加による評価システムの拡大、ポートフォリオ機能と行動特性伸張のための学習方法検索機能の充実。

○ 新型留学制度の開発、学部横断・課題解決型教育プログラムの拡大、国際連携推進

海外体験を軸とした科目の展開、週末留学等の多用な短期留学の導入、英語による少人数演習+留学による新学習プログラム導入、国際機関でのインターンシップ拡大。

○ 教材・教授法・評価法の開発

「グローバルな専門科目」を学ぶための外国語教育と「日本固有の専門科目(例:日本法)」を外国語で学ぶために必要な教材・教授法・評価方法の開発とカリキュラム整備。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

外国語運用能力に優れた志願者を対象とする特別入学試験の展開、推薦入試における外国語による面接、在外・留学経験、TOEFL等の外部テスト結果の一層の重視・活用や秋入学・ギャップイヤー等について検討を進めて行く。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

「専門科目を学ぶための英語」、「英語で学ぶ専門科目」、「TOEIC等の試験対策科目」等の学部カリキュラムへの導入、留学支援英語プログラムの導入、外国語力のグローバルC-compassへの反映、自律学習チューター制度導入等。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

海外での研究教育経験のある教員が有する教育メソッドやノウハウを共有することにより、本学のグローバル教育力全体の向上を図る他、海外協定校と遠隔授業の共同開発を通じて、グローバル教育体制の整備を図る。

○ グローバル教育力向上のための取組

3つのグローバル人材育成に向けた教材・教授法・カリキュラムの開発、国際団体・企業・海外協定校との交流を通じたグローバル人材育成に関する情報収集成果のFD・SD活動への反映、優れた教育実践の共有を図るための公開授業の実施、海外教育経験を有する者を招聘しての研修会あるいは外国語による授業実施スキル習得のための研修会の実施等。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

啓蒙冊子『グローバル人材になろう』の発行、入学時オリエンテーションやキャンパスにおける国際行事等の実施、日本人学生と外国人留学生の交流の場の設置、留学希望者に対する相談体制の充実、留学プログラムの開発支援体制の整備等。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

本構想を通じて海外拠点を設置・拡大し、留学生の危機・リスク管理、留学生との連絡体制の整備、さらに海外インターンシップ受入先の確保、海外実態調査活動の支援、学生の海外での就職を含めたキャリアサポート等のための体制を確立する。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

本学が本構想を通じて育成する3タイプのグローバル人材が修得すべき具体的能力は、以下の通りである。

- 1 グローバル・ジェネラリスト:①現場における英語コミュニケーション能力、②自文化への体系的理解力、③文化的差異への理解力及び対応力、④上記①～③を支える社会人基礎力
- 2 グローバル・リーダー:①高度な外国語コミュニケーション能力、②異文化(キリスト教文化、イスラム文化、東アジア的儒教文化など)に対する理解力、③少なくとも1つの外国地域の文化、社会、経済、政治システムを鳥瞰する能力、④異文化環境の中での生活対応能力、⑤複眼的思考で現実的問題に対処できる能力
- 3 グローバル・スペシャリスト:①法・経・商・理工・文・政策科学等の主専攻分野における専門的知識の活用力、②主専攻分野についての専門的知見を英語又は他の外国語で議論できる能力、③専門的知識を社会システム全体の中で位置付けることができる教養力

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				351人	458人	571人	662人
うち海外留学未経験者数(A)				182人	229人	304人	341人
海外留学経験者数(B)		184人	226人	279人	345人	701人	903人
卒業[予定]者数(C)		6,259人	5,900人	5,690人	5,893人	6,055人	5,841人
比率((A+B)/C)				8.1%	9.7%	16.6%	21.3%
法学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730		90人(70)	100人(70)	120人(90)	130人(90)
	海外留学経験者数	46人	50人	50人	52人	142人	176人
	卒業[予定]者数	1,460人	1,556人	1,410人	1,458人	1,551人	1,386人
経済学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC700		20人(18)	30人(24)	40人(30)	50人(36)
	海外留学経験者数	17人	31人	38人	50人	135人	179人
	卒業[予定]者数	1,124人	1,095人	1,070人	1,048人	1,131人	1,101人
商学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC700		88人(50)	100人(50)	113人(53)	125人(50)
	海外留学経験者数	34人	29人	40人	50人	166人	185人
	卒業[予定]者数	1,261人	1,230人	1,200人	1,170人	1,200人	1,200人
理工学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC700		18人(10)	48人(33)	78人(61)	97人(77)
	海外留学経験者数	7人	11人	14人	15人	21人	58人
	卒業[予定]者数	1,060人	877人	811人	905人	951人	935人
文学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT79 等		75人(10)	100人(20)	120人(30)	140人(40)
	海外留学経験者数	58人	60人	65人	80人	113人	155人
	卒業[予定]者数	1,101人	924人	934人	1,019人	927人	939人
総合政策学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT80 等		60人(24)	80人(32)	100人(40)	120人(48)
	海外留学経験者数	22人	45人	72人	98人	124人	150人
	卒業[予定]者数	253人	218人	265人	293人	295人	280人

※1)「海外留学経験者数」の期間別内訳を省略。

※2)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※3)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。